



山桜

高階西中だより 第25号

平成27年12月24日

川越市立高階西中学校

「今」を精一杯生きよう!!

～「過去の後悔」や「未来への不安」を乗り越えるために～

校長 長井正邦

「暑い、暑い」で始まった二学期も今日をもって終了です。

高階西中学校にとってかけがえのない存在である生徒の皆さんが、一人もかけることなくこの場に集まったこと、本校の先生方は本当にうれしく感じています。

二学期を振り返って、皆さんにはどんな思いが残っていますか。

学年代表や生徒会長が、皆さんを代表して「二学期の振り返りと三学期に向けた抱負」を発表してくれました。素晴らしい発表と素晴らしい聴く態度でした。

振り返ってみると、「ああしておけば良かった」「あの時もっとこうしておけば良かった」と悔いが残ることが多い人もいるかもしれません。過ぎたことを振り返って反省したり、これからのことに目標を持ったりすることはとても重要なことです。

しかし、今日は少し違った視点で話をします。

私たち人間は、とかく「過ぎたこと」を気かけたり、「過去の栄光」に浸ったりすることがあります。また、「将来の夢や目標」に思いを馳せ、行く末に不安を抱いたり心配し続けたりもします。

でも考えてみてください。過ぎてしまったことを変えようとしても変えることはできません。今後、科学がどんなに進歩しても、きっと過去を変えることは不可能でしょう。未来も同様です。

私たちはそういう世界で生きています。

それならば、「今をどうするか」こそが…「今を精一杯生きること」「今、自分ができることに最善を尽くすこと」こそが大切になってきます。

かつて読んだ本の中に「どんなに悔いても過去は変わらない。どれほど心配したところで未来もどうなるものでもない。今、現在に最善を尽くすことである」という言葉がありました。

いい思い出を作りたいなら、将来の夢を実現させたいなら、「今」を充実させることしか方法はありません。「今」を精一杯に生きるのです。

校歌にもあります。「青春かぐわし われら『今』」です。



三年生の皆さん、進路実現に向けて「今」こそ頑張ってください。

一・二年生の皆さん、頑張る先輩の姿をしっかりと目に焼き付けておいてください。きっと、自分たちの一年後・二年後の生き方の参考になるはずですよ。

皆さんならきっとできます。先生方はしっかりと応援します。期待しています。

(12/24 終業式から)

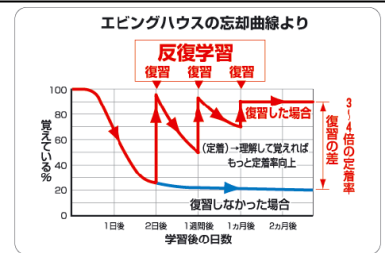
三年生代表 3組 女子

二学期終業式にあたり、三年生を代表して今学期を振り返りたいと思います。

二学期は私達三年生にとって、とても実りのある充実したものとなりました。二学期最初の大きな行事で中学校生活最後の合唱コンクールがありました。最後という事もあり、どのクラスもおとしや去年に比べてさらにやる気にあふれていた人が多かったと思います。しかし、最初の頃は朝練に遅れてきたり、真剣に取り組めなかったりと気がゆるんでいる人もいました。それでも実行委員を中心にパートリーダーや指揮者、伴奏者も協力して練習日程を考えてくれるなど一生懸命に取り組んでくれた人もたくさんいました。残り一週間となった時は、一人一人の意識が高まり完成に近い合唱をする事ができていました。当日は、どのクラスも練習してきた成果を出しきり、集大成にふさわしい合唱をする事ができたと思います。

生活面では受験生という事もあり、二学期に比べてさらに授業に集中する人が多くなりました。その一方で集中力が続かず私語をしてしまったり、夜遅くまで勉強したためか授業中にウトウトしてしまったりする人がクラスに何人かいたようです。三学期はよりよい雰囲気の中で授業を受けられるようにしていきたいです。私たちは一年生から家庭学習ノートを使って短期記憶を長期記憶に変える努力を続けてきました。エビングハウスの忘却曲線*を見ると、三回復習すれば短期記憶が長期記憶に変わるという事がわかります。定期テストの学習計画表「マイプラン」の学習時間もトータルで90時間を超える人が出てきました。テスト期間だけでなく、毎朝早く登校して朝勉強をしている人も増えてきたようです。私立高校入試まであと約一か月、公立高校入試まであと約三か月となりました。それぞれの進路の実現を目指し、みんなで協力して助け合いながら頑張りたいと思います。明日からの冬休みを有効に使い、入試に向けて計画的に勉強をしておきましょう。残り少ない中学校生活を有意義なものにするために、さまざまな場面で仲間と協力していき、これまでの集大成として一人一人がそれぞれの立派な花を咲かせる事ができるよう頑張っていきます。

※エビングハウスの忘却曲線…ドイツの心理学者エビングハウスが研究した人間が記憶したものをどのように覚えているかを示した線



一年生代表 1組 男子

これから一年生を代表して二学期を振り返りたいと思います。

二学期は、さまざまな貴重な体験をさせていただいた学期でした。「山桜祭」では、それぞれがたくさん講座に分かれ普段なかなかできないことを自分の手で体験することができました。私は竹細工講座で、初めて竹細工に取り組み、自分で作り上げる達成感を味わうことができました。

次に、初めての合唱コンクールがありました。はじめは協力してくれない人がいたり、うまく音を合わせられなかったりとつまづいてくじけてしまいそうになってしまったこともありましたが、しかし、実行委員や指揮者、伴奏者の活躍により徐々に協力者も増えてきました。クラスで協力できるようになると、男女の音も合うようになりました。本番では今までで一番いい合唱ができたと思います。また、二、三年生の合唱を聞くと、その歌声に圧倒されました。来年、再来年は先輩たちのような合唱を目指したいと思いました。

そして、十一月の終わりには「社会体験学習」を行いました。事前に全員が事業所を訪問し、打ち合わせを行いました。そして、それぞれの事業所で働くという体験をしました。本番では、失敗して怒られてしまったり、逆に仕事ができてほめられたりと、働く大変さや喜びを知ることができました。とても貴重な三日間を過ごすことができました。そして現在自分たちの体験を発表する準備に入っています。小学校六年生や保護者にうまく伝えられるようにしたいです。

普段の生活面では、学級委員や班長の呼びかけにより、時間を意識することで、タイム着席ができるようになってきました。また、合唱コンクールなどの行事に向けてみんなが協力することで、クラスが一つにまとまってきました。

しかし、授業態度がまだ悪い人、洗心無言清掃にしっかり取り組めていない人など、改善しなければならぬところもあります。三学期は今年度のまとめの学期になります。学年全員で協力して、このような点を改善し、さらにいい学年を目指していきたいです。

二年生代表 2組 男子

これから二学年の二学期の振り返りを発表します。

二学期は、上級学校訪問、合唱コンクール、校外学習など、クラスや班で協力する場面が多く、学年としてレベルアップしたと思います。

「上級学校訪問」では、訪問する学校の様子や、質問内容、行き方を調べ、当日は計画通り訪問することができました。訪問後のまとめを行うことで、将来の進路について、考えることができました。

「合唱コンクール」では、今年こそは金賞をとるという気持ちですが、昨年度よりも強く、実行委員、指揮者、伴奏者を中心に、練習から時間をかけて協力して取り組みました。前向きな意見が多く、時にはぶつかり合うこともありましたが、当日は練習の成果を発揮することができ、クラスとしての絆が深まりました。

「校外学習」では、事前学習などを通して時間への意識を高め、当日は一人一人がしっかりと行動することができました。いくつか反省点は残りましたが、この反省点を見直し、みんなで協力して、最大の行事である三学期の修学旅行をよりよいものにしていきたいです。

三学期は、二年生のまとめだけでなく、三年生に向けての大切な準備期間です。この大切な時期をみんなで協力して乗り越えて、この高階西中学校を引っ張っていける学年に成長していきたいです。

生徒会代表（生徒会長） 2年1組 男子

生徒会から二学期の反省について述べたいと思います。

まず、生徒会の活動ではエコキャップ運動やバルマーク運動がありました。皆さんからのご協力ありがとうございました。これからも、ご協力よろしくお願ひします。三学期からは、いじめ撲滅運動などを行っていきます。高階西中の皆でいじめのない、より良い学校を目指していきましょう。

今学期の行事は、山桜祭や合唱コンクールがありました。特に合唱コンクールではクラス全員で団結する機会だったので、協力するという意識がさらに高まったと思います。三学期には三年生を送る会が行われます。お世話になっている先輩方への感謝を胸に、実行委員を中心に生徒会も協力していきます。

また、各学年の行事として、一年生は社会体験学習がありました。三日間という短い期間でしたが、この経験を通して人へ感謝することや責任を持つて行くことの大切さなどを改めて実感できたと思います。二年生は上級学校訪問があり、来年の受験に向けて進路決定のきっかけになりました。さらに校外学習でもルールや時間を守る意識が高まったと思います。三学期の修学旅行でも、一人一人が意識して行動できるようにしましょう。三年生は三学期に控えた入学試験の準備に没頭した時期だったと思います。最後まで諦めず合格を目指し頑張ってください。

今学期はインフルエンザ等の流行はありませんでしたが、これからも予防をきちんとして生活していきましょう。一人一人が目標に向かって行動し、気持ちよく新たな年を迎えられるよう、有意義な冬休みを送ってください。